

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成22年11月12日
【四半期会計期間】	第49期第2四半期（自平成22年7月1日至平成22年9月30日）
【会社名】	株式会社ダスキン
【英訳名】	DUSKIN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 山村輝治
【本店の所在の場所】	大阪府吹田市豊津町1番33号
【電話番号】	06(6387)3411(大代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 鶴見明久
【最寄りの連絡場所】	大阪府吹田市豊津町1番33号
【電話番号】	06(6387)3411(大代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 鶴見明久
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第48期 第2四半期連結 累計期間	第49期 第2四半期連結 累計期間	第48期 第2四半期連結 会計期間	第49期 第2四半期連結 会計期間	第48期
会計期間	自平成21年 4月1日 至平成21年 9月30日	自平成22年 4月1日 至平成22年 9月30日	自平成21年 7月1日 至平成21年 9月30日	自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日	自平成21年 4月1日 至平成22年 3月31日
売上高(百万円)	90,228	87,800	44,661	43,850	181,280
経常利益(百万円)	7,233	6,036	3,374	2,700	13,806
四半期(当期)純利益(百万円)	3,182	2,624	1,562	1,761	7,824
純資産額(百万円)			144,680	148,232	148,308
総資産額(百万円)			194,656	198,742	200,889
1株当たり純資産額(円)			2,151.59	2,225.94	2,226.72
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	47.61	39.62	23.38	26.59	117.20
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)					
自己資本比率(%)			73.9	74.2	73.4
営業活動によるキャッシュ・フ ロー(百万円)	7,635	4,401			18,563
投資活動によるキャッシュ・フ ロー(百万円)	3,038	4,383			7,849
財務活動によるキャッシュ・フ ロー(百万円)	2,804	2,714			3,803
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)			27,039	29,449	32,157
従業員数(人)			3,419	3,398	3,398

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載して
おりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載していません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、(株)ダスキンサーヴ中国は平成22年8月1日付で(株)ダスキンサーヴ四国を吸収合併し、(株)ダスキンサーヴ中国四国に社名変更しております。

また、(株)フランチャイズ・パートナーズは、平成22年9月27日をもって清算終了しております。

4【従業員の状況】

(1)連結会社の状況

平成22年9月30日現在

従業員数（人）	3,398 (5,988)
---------	---------------

(注) 1．従業員数は就業人員であります。

2．従業員数欄の（ ）外書は、臨時従業員の当四半期連結会計期間の平均雇用人員であります。

(2)提出会社の状況

平成22年9月30日現在

従業員数（人）	2,047 (2,144)
---------	---------------

(注) 1．従業員数は就業人員であります。

2．従業員数欄の（ ）外書は、臨時従業員の当四半期会計期間の平均雇用人員であります。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1)仕入実績

セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
クリーニンググループ	6,829	
フードグループ	7,662	
その他	916	
合計	15,407	

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. クリーニンググループでは生産を行っており、主なものは下記のとおりであります。

(クリーニンググループにおける生産実績)

区分	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	
	回数 (ワッシャー)	前年同四半期比 (%)
マット	336,489	
モップ	60,508	
ロールタオル	9,464	
ウエス	7,638	
合計	414,099	

(2)受注実績

該当事項はありません。

(3)販売実績

セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
クリーニンググループ	28,927	
フードグループ	12,323	
その他	2,599	
合計	43,850	

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. セグメント間の取引につきましては、相殺消去いたしております。

2【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当社は、平成22年8月12日開催の取締役会においてアザレプロダクツ株式会社の全株式及び共和化粧品工業株式会社のアザレプロダクツ株式会社が保有する株式と自己株式を除く全株式を平成22年10月1日付をもって取得することを決議し、同日株式譲渡契約を締結いたしました。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結会計期間（平成22年7月1日～平成22年9月30日、以下当第2四半期）における我が国経済は、景気は緩やかな回復基調ながら、海外景気の下振れ懸念や急激な円高の進行等で期間後半は足踏み状態となった感がありました。

このような環境の中、当第2四半期の連結売上高は438億50百万円（前年同期比1.8%減）となりました。連結営業利益は、クリーングループにおける店舗システムの導入及びその運用費用の計上等により、前年同期に比べ7億72百万円（24.9%）減少し、23億30百万円となり、連結経常利益は27億円（前年同期比20.0%減）、連結四半期純利益は、17億61百万円（前年同期比12.7%増）となりました。

a.セグメント毎の状況

第1四半期連結会計期間より報告セグメントを変更しております。変更の概要については「第5 経理の状況 1.四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）」をご参照ください。

(a)クリーングループ

ホームサービス（一般ご家庭向けサービス）においては、第1四半期に引き続き、昨秋販売を開始したハンディモップ「shushu」及びエアコンクリーニングサービスの拡販を中心に置いて、地域（お客様係の担当地区）密着の営業活動を推進しました。その結果、ハンディモップとエアコンクリーニングサービスの売上は前年同期を上回りましたが、主力である床用モップの売上低迷の影響が大きくホームサービス全体では売上高は減少しました。

ビジネスサービス（事業所向けサービス）においては、厨房機器・店舗設備のトラブルに対応する「緊急駆け付けサービス」の会員獲得活動を厨房衛生サポート活動の足掛かりと位置付け、地域（お客様係の担当地区）密着の営業活動の中心にその会員獲得を置いた活動に注力しました。「シャープ株式会社製プラズマクラスターイオン発生機」を活用した空間衛生サポートの提案や大口・地域チェーン店獲得活動も積極的に行いましたが、主力のマット商品群をはじめ、清掃役務サービス等ほぼすべての商品・サービスで前年同期の売上を下回りました。

また8月には、化粧品事業の強化を目的に、アザレプロダクツ株式会社及び共和化粧品工業株式会社を完全子会社とすべく、両社と株式譲渡契約を締結いたしました。これにより両社は、第3四半期より当社の連結子会社となるものであります。

以上の結果、クリーングループ全体の売上高は289億27百万円（前年同期比2.7%減）、営業利益は34億88百万円（前年同期比20.3%減）となりました。

(b)フードグループ

ミスタードーナツ事業は、来店顧客数の増加を目指して、懐かしさの中に真新しさを融合した新商品を毎月投入いたしました。7月は、国産果肉という素材にこだわった「ジャパフル」を地域限定で発売、8月は、お子様に照準を当てた「ポン・デ・jr」を発売、9月には、「大復刻祭」と銘打ち、過去に人気があった商品14種類を復刻発売しました。期間を通して記録的な猛暑が続いたことで、売上は全般的に低調でしたが、8月26日から4日間に亘って東京国際フォーラムで開催した40周年記念イベント『ミスタードーナツミュージアム「大復刻祭」』が好評を博し、復刻商品人気との相乗効果で9月は持ち直し傾向となりました。また、設備賃貸料及び設備賃貸費用に係る会計処理基準の変更も影響し、売上高は前年同期から微増となりました。（「第5 経理の状況 1.四半期連結財務諸表 四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更 及び 注記事項（セグメント情報等）」をご参照ください。）

フードグループのその他の事業は、夏場の季節商品が好調に推移しましたが、不採算店を前期中に閉鎖したことに伴う店舗数減少により売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

以上の結果、フードグループ全体の売上高は、123億23百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は6億97百万円（前年同期比14.4%減）となりました。

(c) その他

株式会社ダスキンヘルスケアで展開しております病院施設のマネジメントサービスは、大口顧客の解約が影響し売上高は前年同期を下回りました。

ダスキン共益株式会社に展開しておりますリース事業は、一般リース、カーリースとも低調で、売上高は減少しました。

以上の結果、その他の売上高は25億99百万円（前年同期比3.1%減）、営業損失が67百万円（前年同期の営業利益は1億16百万円）となりました。

なお、上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」）は、第1四半期連結会計期間末の291億96百万円から2億52百万円増加し294億49百万円となりました。各々のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、58億84百万円の資金収入（前年同四半期比6億62百万円減）となりました。その要因は、税金等調整前四半期純利益が25億30百万円（同4億67百万円減）、減価償却費が15億20百万円（同64百万円増）及び賞与引当金の増加額が17億51百万円（同30百万円減）であったこと等であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、54億55百万円の資金支出（同21億38百万円増）となりました。その要因は、有価証券及び投資有価証券の取得による支出が70億31百万円（同60億36百万円減）及び有形固定資産の取得による支出が10億93百万円（同1億33百万円減）であったことに対し、投資有価証券の売却及び償還による収入が20億円（同79億99百万円減）であったこと等であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、1億61百万円の資金支出（同1億6百万円減）となりました。その要因は、配当金の支払額が1億30百万円（同4百万円減）及び長期借入金の返済による支出が31百万円（同1億円減）であったこと等であります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社企業集団（当社及び当社の子会社）が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間における当社企業集団の研究開発活動の金額は、1億83百万円であります。なお、当第2四半期連結会計期間において、当社企業集団の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

資金の流動性について

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は294億49百万円であり、その他にも資金の範囲に含まれないが資金化が容易な定期預金及び有価証券が98億42百万円あり、運転資金としては将来の予測可能な資金需要に対して十分に確保しております。

また当社企業集団では、当社が資金を集中・管理し、有効に活用することで資金効率の向上を図っております。

資金の調達について

資金需要に対して当社は、主として自己資金（手元資金と営業活動によって獲得した資金）によって賅う予定ですが、不測の事態に備えて主要取引金融機関とコミットメントライン（特定融資枠）契約を締結しており、円滑且つ効率的な資金調達を行う方針であります。なお、金融機関からの調達に際しては、資金使途・目的に応じて金融市場環境や金利動向等を総合的に勘案し、その時点で最適と思われる調達方法を検討することとしております。

資金の使途について

資金の使途は、主として事業資金であります。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末において計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成22年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成22年11月12日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	67,394,823	67,394,823	東京証券取引所 大阪証券取引所 (各市場第一部)	単元株式数 100株
計	67,394,823	67,394,823		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成22年7月1日～ 平成22年9月30日		67,394,823		11,352		1,090

(6)【大株主の状況】

平成22年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
三井物産株式会社	東京都千代田区大手町1丁目2番1号	3,500	5.19
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	2,247	3.33
ダスキン働きさん持株会	大阪府吹田市豊津町1番33号	2,193	3.25
小笠原 浩方	京都府京田辺市	2,005	2.97
日本製粉株式会社	東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目27番5号	2,000	2.96
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	1,572	2.33
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区有楽町1丁目1番2号	1,500	2.22
日本水産株式会社	東京都千代田区大手町2丁目6番2号	1,125	1.66
株式会社モスフードサービス	東京都品川区大崎2丁目1番1号	1,051	1.55
ロイヤルホールディングス 株式会社	福岡市博多区那珂3丁目28番5号	1,050	1.55
計	-	18,245	27.07

(注) 1. 当社は、自己株式を1,158,179株所有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 上記表中の は、すべて信託業務に係る株式数であります。

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成22年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,158,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 66,153,400	661,534	
単元未満株式	普通株式 83,323		
発行済株式総数	67,394,823		
総株主の議決権		661,534	

【自己株式等】

平成22年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数(株)	他人名義 所有株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ダスキン	大阪府吹田市豊津町 1番33号	1,158,100		1,158,100	1.71
計		1,158,100		1,158,100	1.71

2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成22年4月	平成22年5月	平成22年6月	平成22年7月	平成22年8月	平成22年9月
最高(円)	1,670	1,644	1,552	1,570	1,548	1,558
最低(円)	1,620	1,482	1,440	1,503	1,480	1,493

(注)最高・最低株価は東京証券取引所(市場第一部)におけるものであります。

3【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成22年7月1日から平成22年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間（平成22年7月1日から平成22年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,255	19,849
受取手形及び売掛金	11,737	12,027
リース投資資産	1,912	1,863
有価証券	24,036	20,017
商品及び製品	7,043	7,017
仕掛品	140	157
原材料及び貯蔵品	1,532	1,607
繰延税金資産	2,383	2,649
その他	2,302	1,343
貸倒引当金	89	78
流動資産合計	66,253	66,453
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	40,799	40,112
減価償却累計額	21,993	21,177
建物及び構築物(純額)	18,806	18,935
機械装置及び運搬具	21,327	21,144
減価償却累計額	14,653	14,243
機械装置及び運搬具(純額)	6,673	6,901
土地	23,596	23,538
建設仮勘定	174	177
その他	12,066	11,758
減価償却累計額	8,339	8,140
その他(純額)	3,727	3,618
有形固定資産合計	52,979	53,170
無形固定資産		
のれん	346	375
その他	6,014	6,379
無形固定資産合計	6,361	6,754
投資その他の資産		
投資有価証券	55,418	56,832
長期貸付金	130	144
繰延税金資産	7,389	7,143
差入保証金	9,067	9,471
その他	1,318	1,126
貸倒引当金	177	209
投資その他の資産合計	73,147	74,509
固定資産合計	132,488	134,435
資産合計	198,742	200,889

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,050	7,498
1年内返済予定の長期借入金	5,624	5,624
未払法人税等	1,858	2,289
賞与引当金	3,528	4,118
ポイント引当金	504	512
資産除去債務	252	-
未払金	5,349	6,345
レンタル品預り保証金	10,742	10,946
その他	3,442	3,893
流動負債合計	38,354	41,228
固定負債		
長期借入金	300	362
退職給付引当金	10,287	9,769
役員退職慰労引当金	-	15
債務保証損失引当金	144	167
資産除去債務	428	-
長期未払金	141	139
長期預り保証金	829	868
負ののれん	19	21
その他	4	8
固定負債合計	12,155	11,352
負債合計	50,510	52,580
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,352	11,352
資本剰余金	13,076	13,076
利益剰余金	126,995	127,020
自己株式	1,832	1,832
株主資本合計	149,591	149,617
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,692	1,730
為替換算調整勘定	460	396
評価・換算差額等合計	2,153	2,126
少数株主持分	793	817
純資産合計	148,232	148,308
負債純資産合計	198,742	200,889

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	90,228	87,800
売上原価	49,433	47,991
売上総利益	40,795	39,809
販売費及び一般管理費	1 34,290	1 34,653
営業利益	6,505	5,155
営業外収益		
受取利息	362	420
受取配当金	118	140
設備賃貸料	557	62
受取手数料	124	151
負ののれん償却額	43	2
持分法による投資利益	-	14
営業権譲渡益	5	27
雑収入	322	267
営業外収益合計	1,534	1,086
営業外費用		
支払利息	39	36
設備賃貸費用	166	-
持分法による投資損失	451	-
賃貸借契約解約損	-	46
雑損失	148	123
営業外費用合計	806	205
経常利益	7,233	6,036
特別利益		
固定資産売却益	43	6
貸倒引当金戻入額	3	18
債務保証損失引当金戻入額	-	22
損害賠償金収入	57	-
その他	45	19
特別利益合計	149	67
特別損失		
固定資産売却損	4	17
固定資産廃棄損	356	117
減損損失	96	20
投資有価証券売却損	7	-
投資有価証券評価損	516	794
関係会社株式売却損	86	-
債務保証損失引当金繰入額	33	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	491
その他	18	139
特別損失合計	1,120	1,581
税金等調整前四半期純利益	6,263	4,522
法人税等	2 3,101	2 1,889
少数株主損益調整前四半期純利益	-	2,632
少数株主利益又は少数株主損失()	20	8
四半期純利益	3,182	2,624

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	44,661	43,850
売上原価	24,625	24,266
売上総利益	20,035	19,583
販売費及び一般管理費	1 16,933	1 17,253
営業利益	3,102	2,330
営業外収益		
受取利息	187	209
受取配当金	17	17
設備賃貸料	274	27
受取手数料	75	84
負ののれん償却額	-	1
営業権譲渡益	5	22
雑収入	169	145
営業外収益合計	729	507
営業外費用		
支払利息	19	18
設備賃貸費用	83	-
持分法による投資損失	221	7
賃貸借契約解約損	-	22
雑損失	132	89
営業外費用合計	457	137
経常利益	3,374	2,700
特別利益		
固定資産売却益	43	0
貸倒引当金戻入額	0	5
債務保証損失引当金戻入額	-	10
その他	2	1
特別利益合計	46	17
特別損失		
固定資産売却損	4	4
固定資産廃棄損	265	64
減損損失	80	20
投資有価証券売却損	7	-
投資有価証券評価損	16	25
債務保証損失引当金繰入額	42	-
その他	6	72
特別損失合計	422	187
税金等調整前四半期純利益	2,998	2,530
法人税等	2 1,443	2 768
少数株主損益調整前四半期純利益	-	1,762
少数株主利益又は少数株主損失()	8	0
四半期純利益	1,562	1,761

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,263	4,522
減価償却費	2,901	3,046
のれん償却額	10	70
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	491
貸倒引当金の増減額(は減少)	9	14
貸倒損失	1	4
受取利息及び受取配当金	481	560
支払利息	39	36
為替差損益(は益)	9	5
持分法による投資損益(は益)	451	14
有形固定資産売却損益(は益)	38	11
有形固定資産除却損	273	115
投資有価証券売却損益(は益)	94	-
投資有価証券評価損益(は益)	516	794
営業権譲渡損益(は益)	5	26
減損損失	96	20
売上債権の増減額(は増加)	1,131	274
たな卸資産の増減額(は増加)	1,027	63
仕入債務の増減額(は減少)	898	477
賞与引当金の増減額(は減少)	745	589
ポイント引当金の増減額(は減少)	3	7
退職給付引当金の増減額(は減少)	542	517
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	45	15
債務保証損失引当金の増減額(は減少)	33	22
未払消費税等の増減額(は減少)	38	332
リース投資資産の増減額(は増加)	30	49
その他の資産の増減額(は増加)	29	671
その他の負債の増減額(は減少)	2,626	1,783
小計	7,877	6,102
利息及び配当金の受取額	420	621
利息の支払額	38	35
法人税等の支払額	623	2,287
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,635	4,401

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（は増加）	134	863
有価証券の取得による支出	1,000	5,029
有価証券の売却及び償還による収入	1,000	4,000
有形固定資産の取得による支出	3,225	2,065
有形固定資産の売却による収入	107	37
投資有価証券の取得による支出	12,166	5,004
投資有価証券の売却及び償還による収入	13,000	3,500
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	257	-
貸付けによる支出	1	1
貸付金の回収による収入	17	18
敷金及び保証金の差入による支出	85	138
敷金及び保証金の回収による収入	479	365
営業権譲渡による収入	5	26
その他の支出	808	1,095
その他の収入	28	139
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,038	4,383
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	179	62
少数株主からの払込みによる収入	49	-
自己株式の取得による支出	2	0
配当金の支払額	2,668	2,643
少数株主への配当金の支払額	3	9
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,804	2,714
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	11
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	1,802	2,708
現金及び現金同等物の期首残高	25,237	32,157
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,039	29,449

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
1. 連結の範囲に関する事項の変更	<p>(1) 連結の範囲の変更</p> <p>当社の連結子会社であった㈱ダスキンサーヴ四国は、当第2四半期連結会計期間において㈱ダスキンサーヴ中国四国(㈱ダスキンサーヴ中国より社名変更)に吸収合併されたことにより、連結の範囲から除外しております。</p> <p>また、連結子会社であった㈱フランチャイズ・パートナーズは、当第2四半期連結会計期間において清算を結了したため連結の範囲から除外しております。</p> <p>(2) 変更後の連結子会社の数 26社</p>
2. 会計処理基準に関する事項の変更	<p>(1) 資産除去債務に関する会計基準の適用</p> <p>第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。</p> <p>これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は170万円、税金等調整前四半期純利益は508百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は702百万円であります。</p> <p>(2) 設備賃貸料及び設備賃貸費用</p> <p>当社は、従来、加盟店に対するシステム、機械設備、土地・建物等の賃貸に係る収益及び費用は、営業外収益の「設備賃貸料」及び営業外費用の「設備賃貸費用」に計上していましたが、第1四半期連結会計期間より、フランチャイズノウハウの供与にあたるシステム及び機械設備等の賃貸に係る収益、費用については「売上高」及び「売上原価」「販売費及び一般管理費」に計上する方法に変更いたしました。</p> <p>これは、第1四半期連結会計期間よりネットワーク計画における店舗業務システムを加盟店に本格展開するのを機に、フランチャイズ本部の運営において必要な機械やソフトウェアの貸与又は使用許諾については加盟店展開するフランチャイズ事業のノウハウの提供であると考え、「売上高」として計上することで損益区分をより適切に表示するために行ったものであります。</p> <p>なお、第1四半期連結会計期間より商品・サービス毎に区分していた訪問販売事業をクリーングループとして統合しております。</p> <p>この結果、従来の方法によった場合と比べて、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,056百万円、売上原価は181百万円及び販売費及び一般管理費は292百万円増加し、営業利益は582百万円増加しましたが、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。</p>

【表示方法の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
(四半期連結損益計算書) 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
(四半期連結損益計算書) 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

【簡便な会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法 2. たな卸資産の評価方法 3. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。 たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。 繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
税金費用の計算	連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)																																																																																																				
<p>1. 偶発債務</p> <p>連結会社以外の会社の金融機関からの借入金に対して債務保証を行っております。</p> <p>ミスタードーナツ加盟店 (事業者融資保証)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">(株)フジタコーポレーション</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">101</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">百万円</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>(株)サン・ウッド</td> <td style="text-align: right;">91</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>栗豊(株)</td> <td style="text-align: right;">44</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">54</td> <td style="text-align: right;">件</td> <td style="text-align: right;">439</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> </tr> </table> <p>協力工場 (協栄工場融資保証)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">(株)山陰ダスキン工場</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">88</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">百万円</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>太洋ドライクリーニング(株)</td> <td style="text-align: right;">14</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(株)北越ダスキン協栄工場</td> <td style="text-align: right;">12</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>サンドリーム(株)</td> <td style="text-align: right;">10</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>当社従業員 (厚生貸付保証)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;">90</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">件</td> <td style="text-align: right;">137</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> </tr> </table> <hr style="border: 0.5px solid black;"/> <p style="text-align: right;">合計</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;">940</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">百万円</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>	(株)フジタコーポレーション	101	百万円			(株)サン・ウッド	91	百万円			栗豊(株)	44	百万円			その他	54	件	439	百万円	(株)山陰ダスキン工場	88	百万円			太洋ドライクリーニング(株)	14	百万円			(株)北越ダスキン協栄工場	12	百万円			サンドリーム(株)	10	百万円				90	件	137	百万円		940	百万円			<p>1. 偶発債務</p> <p>連結会社以外の会社の金融機関からの借入金に対して債務保証を行っております。</p> <p>ミスタードーナツ加盟店 (事業者融資保証)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">(株)フジタコーポレーション</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">117</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">百万円</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>(株)サン・ウッド</td> <td style="text-align: right;">115</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>栗豊(株)</td> <td style="text-align: right;">63</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">57</td> <td style="text-align: right;">件</td> <td style="text-align: right;">571</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> </tr> </table> <p>協力工場 (協栄工場融資保証)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">(株)山陰ダスキン工場</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">93</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">百万円</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>サンドリーム(株)</td> <td style="text-align: right;">31</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>日本リネンサプライ(株)</td> <td style="text-align: right;">21</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">2</td> <td style="text-align: right;">件</td> <td style="text-align: right;">30</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> </tr> </table> <p>当社従業員 (厚生貸付保証)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;">95</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">件</td> <td style="text-align: right;">148</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> </tr> </table> <hr style="border: 0.5px solid black;"/> <p style="text-align: right;">合計</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;">1,193</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">百万円</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>	(株)フジタコーポレーション	117	百万円			(株)サン・ウッド	115	百万円			栗豊(株)	63	百万円			その他	57	件	571	百万円	(株)山陰ダスキン工場	93	百万円			サンドリーム(株)	31	百万円			日本リネンサプライ(株)	21	百万円			その他	2	件	30	百万円		95	件	148	百万円		1,193	百万円		
(株)フジタコーポレーション	101	百万円																																																																																																			
(株)サン・ウッド	91	百万円																																																																																																			
栗豊(株)	44	百万円																																																																																																			
その他	54	件	439	百万円																																																																																																	
(株)山陰ダスキン工場	88	百万円																																																																																																			
太洋ドライクリーニング(株)	14	百万円																																																																																																			
(株)北越ダスキン協栄工場	12	百万円																																																																																																			
サンドリーム(株)	10	百万円																																																																																																			
	90	件	137	百万円																																																																																																	
	940	百万円																																																																																																			
(株)フジタコーポレーション	117	百万円																																																																																																			
(株)サン・ウッド	115	百万円																																																																																																			
栗豊(株)	63	百万円																																																																																																			
その他	57	件	571	百万円																																																																																																	
(株)山陰ダスキン工場	93	百万円																																																																																																			
サンドリーム(株)	31	百万円																																																																																																			
日本リネンサプライ(株)	21	百万円																																																																																																			
その他	2	件	30	百万円																																																																																																	
	95	件	148	百万円																																																																																																	
	1,193	百万円																																																																																																			

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)																								
<p>1. 販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">減価償却費</td> <td style="text-align: right;">1,495百万円</td> </tr> <tr> <td>賞与</td> <td style="text-align: right;">3,255百万円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">1,032百万円</td> </tr> <tr> <td>給与手当</td> <td style="text-align: right;">7,001百万円</td> </tr> <tr> <td>販売手数料</td> <td style="text-align: right;">3,647百万円</td> </tr> <tr> <td>のれんの償却額</td> <td style="text-align: right;">33百万円</td> </tr> </table> <p>当期より、「賞与」には「賞与引当金繰入額」3,027百万円を含めて記載しております。</p> <p>2. 「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」を一括記載しております。</p>	減価償却費	1,495百万円	賞与	3,255百万円	退職給付費用	1,032百万円	給与手当	7,001百万円	販売手数料	3,647百万円	のれんの償却額	33百万円	<p>1. 販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">減価償却費</td> <td style="text-align: right;">1,828百万円</td> </tr> <tr> <td>賞与</td> <td style="text-align: right;">2,890百万円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">1,275百万円</td> </tr> <tr> <td>給与手当</td> <td style="text-align: right;">7,044百万円</td> </tr> <tr> <td>販売手数料</td> <td style="text-align: right;">3,446百万円</td> </tr> <tr> <td>のれんの償却額</td> <td style="text-align: right;">72百万円</td> </tr> </table> <p>2. 「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」を一括記載しております。</p>	減価償却費	1,828百万円	賞与	2,890百万円	退職給付費用	1,275百万円	給与手当	7,044百万円	販売手数料	3,446百万円	のれんの償却額	72百万円
減価償却費	1,495百万円																								
賞与	3,255百万円																								
退職給付費用	1,032百万円																								
給与手当	7,001百万円																								
販売手数料	3,647百万円																								
のれんの償却額	33百万円																								
減価償却費	1,828百万円																								
賞与	2,890百万円																								
退職給付費用	1,275百万円																								
給与手当	7,044百万円																								
販売手数料	3,446百万円																								
のれんの償却額	72百万円																								

前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)																								
<p>1. 販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">減価償却費</td> <td style="text-align: right;">752百万円</td> </tr> <tr> <td>賞与</td> <td style="text-align: right;">1,452百万円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">511百万円</td> </tr> <tr> <td>給与手当</td> <td style="text-align: right;">3,466百万円</td> </tr> <tr> <td>販売手数料</td> <td style="text-align: right;">1,835百万円</td> </tr> <tr> <td>のれんの償却額</td> <td style="text-align: right;">16百万円</td> </tr> </table> <p>当期より、「賞与」には「賞与引当金繰入額」1,441百万円を含めて記載しております。</p> <p>2. 「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」を一括記載しております。</p>	減価償却費	752百万円	賞与	1,452百万円	退職給付費用	511百万円	給与手当	3,466百万円	販売手数料	1,835百万円	のれんの償却額	16百万円	<p>1. 販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">減価償却費</td> <td style="text-align: right;">914百万円</td> </tr> <tr> <td>賞与</td> <td style="text-align: right;">1,463百万円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">706百万円</td> </tr> <tr> <td>給与手当</td> <td style="text-align: right;">3,484百万円</td> </tr> <tr> <td>販売手数料</td> <td style="text-align: right;">1,737百万円</td> </tr> <tr> <td>のれんの償却額</td> <td style="text-align: right;">36百万円</td> </tr> </table> <p>2. 「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」を一括記載しております。</p>	減価償却費	914百万円	賞与	1,463百万円	退職給付費用	706百万円	給与手当	3,484百万円	販売手数料	1,737百万円	のれんの償却額	36百万円
減価償却費	752百万円																								
賞与	1,452百万円																								
退職給付費用	511百万円																								
給与手当	3,466百万円																								
販売手数料	1,835百万円																								
のれんの償却額	16百万円																								
減価償却費	914百万円																								
賞与	1,463百万円																								
退職給付費用	706百万円																								
給与手当	3,484百万円																								
販売手数料	1,737百万円																								
のれんの償却額	36百万円																								

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金勘定 21,780百万円	現金及び預金勘定 15,255百万円
有価証券勘定 9,491百万円	有価証券勘定 24,036百万円
計 31,272百万円	計 39,291百万円
償還期限が3ヵ月を超える有価証券 3,492百万円	償還期限が3ヵ月を超える有価証券 9,041百万円
預入期間が3ヵ月を超える定期預金 739百万円	預入期間が3ヵ月を超える定期預金 800百万円
現金及び現金同等物 27,039百万円	現金及び現金同等物 29,449百万円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成22年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数
普通株式 67,394千株
2. 自己株式の種類及び株式数
普通株式 1,158千株
3. 新株予約権等に関する事項
該当事項はありません。
4. 配当に関する事項
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月24日 定時株主総会	普通株式	2,649	40	平成22年3月31日	平成22年6月25日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	愛の店関連 事業	フードサー ビス事業	ケアサービ ス事業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	25,324	12,358	4,602	2,375	44,661		44,661
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	0	13	670	683	(683)	
計	25,324	12,358	4,616	3,045	45,345	(683)	44,661
営業利益又は営業損失()	4,794	804	56	63	5,591	(2,489)	3,102

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	愛の店関連 事業	フードサー ビス事業	ケアサービ ス事業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	50,431	25,771	9,239	4,786	90,228		90,228
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	0	29	1,360	1,390	(1,390)	
計	50,432	25,771	9,268	6,146	91,619	(1,390)	90,228
営業利益又は営業損失()	9,901	2,000	320	100	11,481	(4,976)	6,505

(注) 1. 事業区分は、売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要な内容

- (1) 愛の店関連事業.....清掃用資器材の賃貸、日用品・化粧品の販売、キャビネットタオルの賃貸、トイレタリー商品の販売、産業用ウエスの賃貸、浄水器・空気清浄機の賃貸等
- (2) フードサービス事業.....ドーナツ・ベニエ・オープン商品・飲茶並びに料理飲食物の販売、ピザの宅配サービス等
- (3) ケアサービス事業.....ハウスクリーニングサービス、家事代行サービス、害虫駆除・予防サービス、樹木・芝生管理サービス、工場・事務所施設管理サービス、高齢者生活支援サービス、病院のマネジメントサービス等
- (4) その他事業.....旅行用品・ベビー用品・レジャー用品・健康及び介護用品等の賃貸並びに販売、ユニフォームの賃貸、オフィスコーヒー等の販売、事務用機器及び車輛のリース、保険代理業等

なお、ケアサービス事業の介護保険法による介護サービスにつきましては連結子会社株式会社ダスキンゼロケアの介護事業を平成21年4月1日付で株式会社ニチイ学館へ譲渡し、撤退しました。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)及び前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)及び前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業部門を置き、各事業本部（又は事業部）は、取扱う製品・サービスについて国内の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

当社は、事業本部（又は事業部）を集約した事業グループを基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「クリーングループ」「フードグループ」の2つを報告セグメントとしております。

「クリーングループ」は、訪問販売を中心とした事業グループであり、清掃用資器材の賃貸、日用品・化粧品の販売、キャビネットタオルの賃貸、トイレタリー商品の販売、産業用ウエスの賃貸、浄水器・空気清浄機の賃貸、ハウスクリーニングサービス、家事代行サービス、害虫駆除・予防サービス、樹木・芝生管理サービス、工場・事務所施設管理サービス、高齢者生活支援サービス、旅行用品・ベビー用品・レジャー用品・健康及び介護用品等の賃貸並びに販売、ユニフォームの賃貸、オフィスコーヒー等の販売等の事業で構成されています。「フードグループ」は、飲食店の展開を目的とした事業グループであり、ドーナツ・ペニエ・オープン商品・飲茶並びに料理飲食物の販売等の事業で構成されています。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：百万円）

	クリーン グループ	フード グループ	その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高						
外部顧客への売上高	57,611	24,850	5,338	87,800		87,800
セグメント間の内部売上高 又は振替高	411	42	1,252	1,705	1,705	
計	58,022	24,892	6,590	89,505	1,705	87,800
セグメント利益	7,032	1,666	40	8,739	3,584	5,155

当第2四半期連結会計期間（自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：百万円）

	クリーン グループ	フード グループ	その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高						
外部顧客への売上高	28,927	12,323	2,599	43,850		43,850
セグメント間の内部売上高 又は振替高	195	25	599	821	821	
計	29,123	12,348	3,199	44,671	821	43,850
セグメント利益又は損失()	3,488	697	67	4,118	1,788	2,330

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、病院のマネジメントサービス、事務用機器及び車両のリース、保険代理業及び海外事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

（単位：百万円）

	当第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結会計期間
セグメント間取引消去	21	25
全社費用	3,605	1,814
合計	3,584	1,788

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合と比べて当第2四半期連結累計期間の「クリーングループ」のセグメント利益は7百万円減少し、「フードグループ」のセグメント利益は9百万円減少しており、また、当第2四半期連結会計期間の「クリーングループ」のセグメント利益は3百万円減少し、「フードグループ」のセグメント利益は4百万円減少しております。

5. 当社及び一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より加盟店に対するシステム、機械設備の賃貸に係る収益及び費用を「売上高」及び「売上原価」「販売費及び一般管理費」に含めて計上する方法に変更いたしました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合と比べて当第2四半期連結累計期間の「クリーングループ」の売上高及びセグメント利益はそれぞれ431百万円、248百万円増加し、「フードグループ」の売上高及びセグメント利益はそれぞれ624百万円、481百万円増加し、「その他」のセグメント利益は146百万円減少しております。また、当第2四半期連結会計期間の「クリーングループ」の売上高及びセグメント利益はそれぞれ221百万円、130百万円増加し、「フードグループ」の売上高及びセグメント利益はそれぞれ320百万円、248百万円増加し、「その他」のセグメント利益は76百万円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結会計期間（自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日）

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

当第2四半期連結累計期間において、のれんの金額に重要な影響を及ぼす事象はありません。

なお、のれんの当第2四半期連結累計期間の償却額及び当第2四半期連結会計期間末の残高は以下のとおりであります。

（単位：百万円）

	クリーン グループ	フード グループ	その他	全社・消去	合計
当第2四半期 連結累計期間償却額	70	1	0		72
当第2四半期 連結会計期間末残高（注）	321	12	13		346

（注）当第2四半期連結会計期間末残高の主な内容は、平成20年7月に取得した株式会社アミ・コーポレーション（現在は株式会社ダスキンサーヴ東北と統合）ののれん残高171百万円（クリーングループ）と当社及び連結子会社が過去に複数の加盟店から事業譲受した際に発生したのれん残高115百万円（クリーングループ）等であります。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より報告セグメントを変更しております。従来の「愛の店関連事業」を株式会社ダスキンヘルスケア（病院のマネジメントサービス）を除く「ケアサービス事業」と統合し、更に「その他事業」からレントオール事業（旅行用品・ベビー用品・レジャー用品・健康及び介護用品等の賃貸並びに販売）、ユニフォームサービス事業（ユニフォームの賃貸）、ドリンクサービス事業（オフィスコーヒー等の販売）を移行し「クリーングループ」セグメントとしております。また、「フードサービス事業」を「フードグループ」セグメントと名称変更しております。「その他」には株式会社ダスキンヘルスケア（病院のマネジメントサービス）、ダスキン共益株式会社（事務用機器及び車両のリース）、ダスキン保険サービス株式会社（保険代理業）、海外事業等を含んでおります。

変更後のセグメント区分による前第2四半期連結累計期間及び前第2四半期連結会計期間のセグメント情報は以下のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

（単位：百万円）

	クリーングループ	フードグループ	その他（注1）	計	調整額（注2）	四半期連結損益計算書計上額（注3）
売上高						
外部顧客への売上高	59,129	25,585	5,512	90,228		90,228
セグメント間の内部売上高又は振替高	411	88	1,396	1,895	1,895	
計	59,541	25,674	6,909	92,124	1,895	90,228
セグメント利益	8,663	2,010	298	10,971	4,466	6,505

前第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）

（単位：百万円）

	クリーングループ	フードグループ	その他（注1）	計	調整額（注2）	四半期連結損益計算書計上額（注3）
売上高						
外部顧客への売上高	29,721	12,257	2,682	44,661		44,661
セグメント間の内部売上高又は振替高	192	49	687	929	929	
計	29,914	12,307	3,369	45,591	929	44,661
セグメント利益	4,374	815	116	5,306	2,203	3,102

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、病院のマネジメントサービス、事務用機器及び車両のリース、保険代理業及び海外事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結会計期間
セグメント間取引消去	346	172
全社費用	4,119	2,031
合計	4,466	2,203

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
1株当たり純資産額 2,225.94円	1株当たり純資産額 2,226.72円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 47.61円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 39.62円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
四半期純利益(百万円)	3,182	2,624
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	3,182	2,624
期中平均株式数(千株)	66,837	66,236

前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 23.38円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 26.59円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
四半期純利益(百万円)	1,562	1,761
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	1,562	1,761
期中平均株式数(千株)	66,837	66,236

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月13日

株式会社ダスキン
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 寺澤 豊

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 西原 健二

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊藤 嘉章

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ダスキンの平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ダスキン及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年11月12日

株式会社ダスキン
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 寺澤 豊

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 西原 健二

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊藤 嘉章

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ダスキンの平成22年4月1日から平成23年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成22年7月1日から平成22年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ダスキン及び連結子会社の平成22年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。